

段階確認等実施要領

平成22年4月1日施行

令和 元年5月1日改正

1. 段階確認の趣旨

公共工事の実施にあたっては、「請負契約」に基づき、工事目的物完成のための一切の責任は、原則として請負者が負うという「自主施工の原則」(契約約款第1条第3項)が基本となっている。この中で発注者は、請負契約の適正な履行を確保するために監督員を置いて、工事現場または製作工場の立会を行い、指定した工事材料の品質や、工事完了後に不可視となる部分で重要なものについて、設計図書との適合を確認することとしている。(契約約款第13条及び第14条)

段階確認は、工事が設計図書どおりに適正に施工され、品質が確保されているかどうかの確認をするために施工段階において必要に応じ、監督員が原則、臨場により実施するものである。

なお、請負者は、段階確認により確認された事項であっても、契約約款17条(設計図書不適合の場合の改造義務、破壊検査等)ならびに、契約約款第31条(検査及び引渡し)の義務を免れない。

2. 適用工事

原則として、別表に定める「段階確認一覧表」の工種に該当する全ての工事に適用する。

3. 確認項目及び確認頻度

原則として、別表に定める「段階確認一覧表」を参考に工事の規模、重要度等を考慮して確認項目及び確認頻度を工事ごとに監督員が定めることとする。

4. 実施要領

(1) 確認項目等の定め

監督員は、着手に先立ち前項の確認項目及び確認頻度を定め、請負業者に別紙1の「段階確認等計画通知書」により指示する。

(2) 準備

請負者は、施工に先立ち、種別、細別、確認時期を施工管理計画として「施工計画書」に記載するものとし、請負者は段階確認にかかる予定(種別、細別、確認時期)について事前に監督員の確認を受けるものとする。

また、請負者は、段階確認の実施に先立ち、確認時期毎に監督員と日程の調整を行うものとする。

(3) 実施

請負者は、段階確認の実施にあたり必要な施工管理資料(出来形、品質管理資料等)を準備し、別紙2の「段階確認書」に添付し要請するものとする。

段階確認は、原則として臨場により実施するものとするが、やむを得ず臨場確認ができない場合は、出来形管理資料及び写真等により机上確認とすることができる。

なお、請負者は監督員の臨場確認の実施状況について写真撮影を行うものとし、工事写真として整理するものとする。

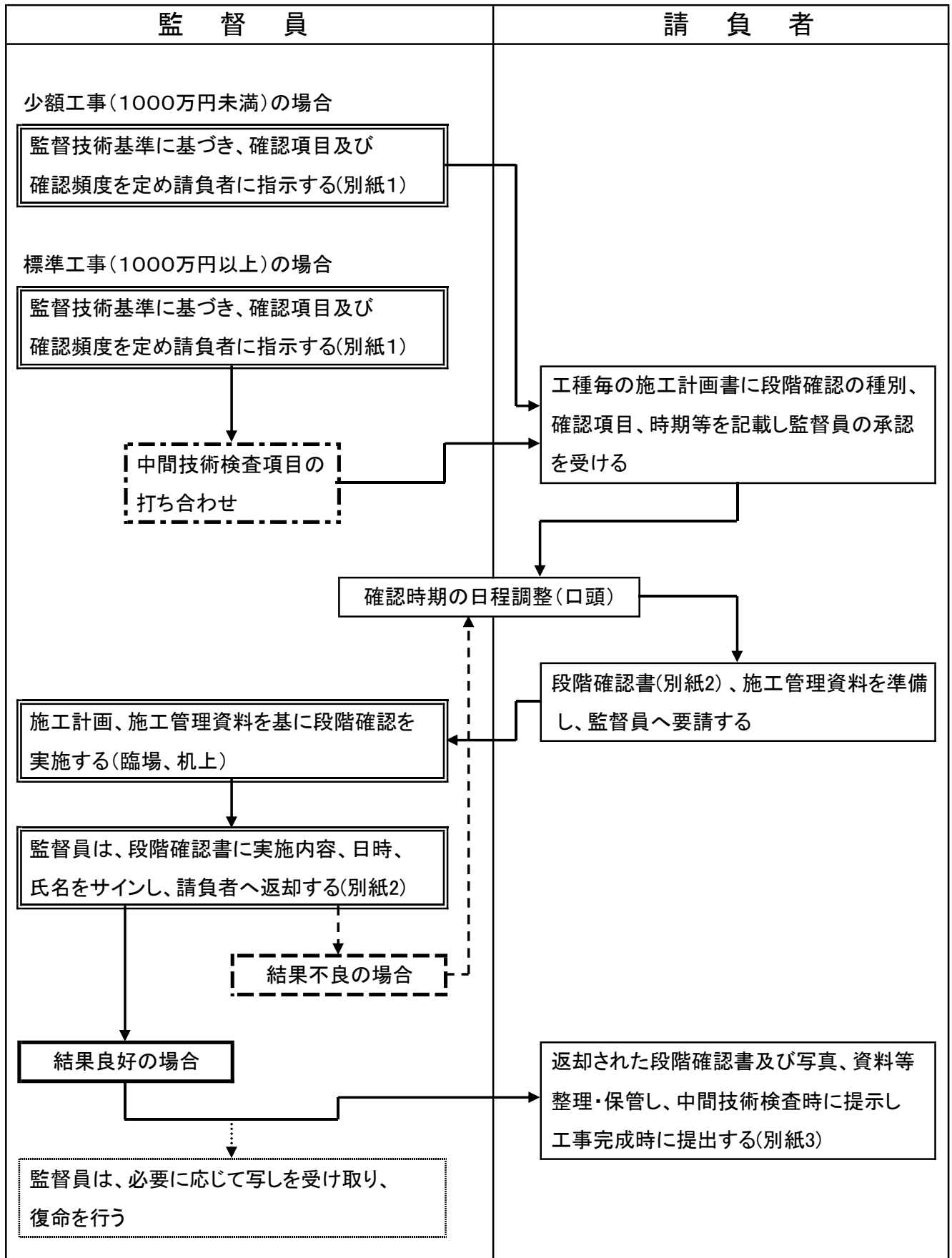
※留意点：臨場により確認した内容、撮影した写真等は「段階確認書」資料として整理・保管し、中間技術検査時に提示し、工事完成時には別紙3の「段階確認書目次」等を活用し見やすく整理したうえ提出するものとする。

(4) 結果

監督員は、段階確認を実施し、結果が良好であった場合、「段階確認書」の確認項目、確認実施日、確認実施者欄を記入して確認時期毎に完結するものとする。ただし、施工管理基準を満足しない等の問題が発生した場合、当該問題について請負者は必要な措置を講じ、再度監督員の確認を受けなければならない。

※留意点：問題に対する措置を講じる必要がある場合、請負者はその原因や対策について監督員に通知又は協議しなければならない。

段階確認の流れ



※当該確認項目について完結。同様の流れで他の項目も実施する

段階確認書

請負者記入欄

1. 工事名 :

2. 確認種別 :

3. 確認事項 :

上記について、段階確認をお願いします。

令和 年 月 日 現場代理人 _____ (印)

監督員記入欄

4. 確認日 : 令和 年 月 日

5. 確認方法 : 臨場 ・ 机上

6. 確認結果 :

上記について、確認しました。

令和 年 月 日 監督員 _____ (自著)

段階確認書（記入例）

請負者記入欄（あらかじめ記載及び押印を行っておく）

1. 工事名 : ○○○○線道路改良工事（1工区）
2. 確認種別 : 既製杭工
3. 確認事項 : 鋼管杭の打込前状況（No. ~No. ）
鋼管杭の打込完了状況（No. ~No. ）

上記について、段階確認をお願いします。

令和△年△月△日

現場代理人 △△ △△



監督員記入欄（現場において手書き記入する）

4. 確認日 : 令和○年○月○日
5. 確認方法 : 臨場 ・ 机上
6. 確認結果 : 別添指示書のとおり

上記について、確認しました。

令和○年○月○日

監督員 ○○ ○○

（自著）

段階確認一覧表

※本表は、標準的な事例を示したものであり、施工工事の工種、規模、重要度等により適宜判断して、追加、削除するなどして、当該工事に必要な施工段階の確認を行うものとする。

目 次

土 木 工 事

別表 1	段階確認一覧表	P1~P5
別表 2	指定材料の品質確認一覧表	P6
別表 3	施工状況の把握一覧表	P7~P8

建 築 工 事

別表 4	段階確認一覧表	P9
別表 5	指定材料の品質確認一覧表	P10

設 備 工 事

別表 6	段階確認一覧表	P11
別表 7	指定材料の品質確認一覧表	P12
別表 8	施工状況の把握一覧表	P13

段階確認一覧表（土木工事）

種 別		細 別		確 認 時 期	確 認 項 目	
共通	一般土工	掘削		丁張り等完了時	中心線(法線)設置状況	
				土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	
				床掘完了時	支持地盤、基礎基準高	
	道路土工	掘削		丁張り等完了時	中心線(法線)設置状況	
				土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	
		路床	切土、盛土完了時	ブルーフローリング、基準高、現場密度		
	仮設工	指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	
		矢板工 (任意仮設を除く)	鋼矢板 鋼管矢板	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否	
				打込完了時	基準高、変位	
	アンカー工	基本試験		基本試験実施毎	使用材料、設計図書との対比	
		削孔工		施工時、施工完了時	削孔深さ、配置、せん孔方向	
		注入工		グラウト注入時	使用材料、深度、注入量	
	法面工	法枠工 吹付工 植生工		ラス張完了時	使用材料、設計図書との対比	
	舗装工	路盤		各層完了時	使用材料、基準高(下層路盤)、厚さ、幅、ブルーフローリング、現場密度	
		舗装工		各層施工時	舗設温度	
				各層完了時	厚さ、幅	
	一般構造物	RC躯体工 擁壁工 函渠工 管渠工	現場打	鉄筋組立て完了時(工場製作を除く)	使用材料、設計図書との対比	
			プレキャスト	据付完了時	使用材料、形状、通り、接続等、設計図書との対比(不可視部分の出来形)	
			現場打	埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	
	側溝工	U型側溝 L型側溝 自由勾配側溝	現場打	鉄筋組立て完了時(工場製作を除く)	使用材料、設計図書との対比	
			プレキャスト	据付完了時	使用材料、形状、通り、接続等、設計図書との対比(不可視部分の出来形)	
			現場打	埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	
	集水樹工		現場打	鉄筋組立て完了時(工場製作を除く)	使用材料、形状、接続、設計図書との対比	
プレキャスト			据付け完了時	使用材料、形状、接続等、設計図書との対比 (不可視部分の出来形)		
現場打			埋め戻し前	基準高、幅、高さ、長さ、厚さ、設計図書との対比(不可視部分の出来形)		
石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック 緑化ブロック 石積(張)	施工時		使用材料、勾配、厚さ、(裏込め含む)、かみ合せ、設計図書との対比		
		施工完了時		基準高、法長、厚さ、延長、根入り、設計図書との対比		
	連節ブロック 天端保護ブロック	施工時		使用材料、勾配、設計図書との対比		
		施工完了時		基準高、法長、延長、幅、設計図書との対比		
	製品製作工		工場製作工		製作時又は製作完了	機能、操作、表示、寸法、塗装(厚さ、状況)、外観等、設計図書との対比
	地盤改良工	表層安定処理工	表層混合処理 路床安定処理		処理完了時	使用材料、基準高、施工厚さ、幅、延長
サンドマット			処理完了時	使用材料、幅、延長、施工厚さ		
置換			掘削完了時	使用材料、基準高、置換厚さ、幅、延長		
パーチカルドレーン工		サンドドレーン 袋詰式サンドドレーン ペーパードレーン		施工時	使用材料、打込長さ	
			施工完了時	施工位置、杭径		

種 別		細 別	確 認 時 期	確 認 項 目		
地盤改良工	締固め改良工	サンドコンパクションパイル	施工時	使用材料、打込長さ		
			施工完了時	基準高、施工位置、杭径		
	固結工	粉体噴射攪拌 高圧噴射攪拌 セメントミルク攪拌 生石灰パイル	施工時	使用材料、深度		
			施工完了時	基準高、位置・間隔、杭径		
	薬液注入	施工時	使用材料、深度、注入量			
基礎工	一般基礎工	砕石基礎 割栗石基礎 均しコンクリート	施工完了時	使用材料、幅、厚さ、延長		
			コンクリート基礎	現場打	施工完了時	使用材料、基準高、幅、高さ、延長
				プレキャスト	施工完了時	使用材料、基準高、延長
	既製杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力		
			打込完了時(打込杭)	基準高、偏心量		
			掘削完了時(中掘杭)	掘削長さ、杭の先端土質		
			施工完了時(中掘杭)	基準高、偏心量		
	場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口徑杭	掘削完了時	掘削長さ、支持地盤		
			鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比		
			施工完了時	基準高、偏心量、杭径		
			杭頭処理完了時	杭頭処理状況		
	深礎工	深礎杭	土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置		
			掘削完了時	長さ、支持地盤		
			鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比		
施工完了時			基準高、偏心量、径			
グラウト注入時			使用材料、使用量			
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工		鉄沓据え付け完了時	使用材料、施工位置			
		本体設置前(オープンケーソン)	支持層			
		掘削完了時(ニューマチックケーソン)				
		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置			
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比			
鋼管井筒基礎工		打込時	使用材料、長さ、溶接部の適否、支持力			
		打込完了時	基準高、偏心量			
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況			
置換工(重要構造物)		掘削完了時	使用材料、置換厚さ、幅、延長、支持地盤			
躯体工	重要構造物	土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置			
		床掘掘削完了時	支持地盤、基礎基準高			
		鉄筋組立て完了時(工場製作を除く)	使用材料、設計図書との対比			
		埋戻し前	設計図書との対比(不可視部分の出来形)			
河川	築堤・護岸工		法線設置完了時	法線設置状況		
	護岸工	法覆工(覆土施工がある場合)	覆土前	設計図書との対比(不可視部分の出来形)		
		基礎工、根固工	設置完了時			

別表1

種 別		細 別		確 認 時 期	確 認 項 目
砂防	砂防堰堤工			法線設置完了時	法線設置状況
橋梁 下部工	橋台、橋脚	躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚フーチング工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置
				床掘削完了時	支持地盤、基礎基準高
				鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比
				埋戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)
橋梁 上部工	支承工		支承の位置決定時	位置、寸法	
			支承据付完了時	使用材料、設計図書との対比	
	鋼橋		仮組立て完了時(仮組立てが省略となる場合を除く)	キャンバー、寸法等	
			架設完了時	寸法、溶接等	
	コンクリート床版工		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	
	ポストテンション T(I)桁製作工 プレビーム桁製作工 プレキャストブロック 桁組立工 PCホロースラブ 製作工		プレストレス導入完了時 横締め作業完了時	設計図書との対比	
		プレストレス導入完了時 縦締め作業完了時			
		PC鋼線・鉄筋組立て完了時(工場製作を除く)	使用材料、設計図書との対比		
塗装工	塗装	塗装(塗替え)	ケレン完了時	下地状態	
			塗装(各層)完了時	使用材料、使用量、設計図書との対比	
			塗装完了時(足場撤去前)	塗膜厚さ	
トン ネル	トンネル掘削工		土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	
	トンネル支保工		支保工完了時 (支保工変更毎)	吹き付けコンクリート厚、 ロックボルト打ち込み本数及び長さ	
	トンネル覆工		コンクリート打設前	巻立空間	
			コンクリート打設後	出来形寸法	
トンネルインバート工		鉄筋組立て完了時	設計図書との対比		
下水道	汚水管渠工 (開削工法)	掘削	丁張り等完了時	法線設置状況	
			掘削完了時	設計図書との対比(掘削幅、掘削深さ)	
			土質変化時点	変化位置	
		土留め工	土留め完了時	使用材料、長さ	
		管渠布設工	管基礎完了時	管のとおり・形状・設計図書との比較	
		埋め戻し工	埋め戻し施工時	巻きだし厚さの確認 (t=20cm)	
		取付管工	支管取付時	設計図書との対比	
	舗装工	As舗装	路盤完了時	施工厚さ、使用材料	
		コンクリート舗装	路盤・溶接金網完了時	使用材料、設計図書との対比	
	雨水管渠工 (開削工法)	掘削	丁張り等完了時	法線設置状況	
			掘削完了時	設計図書との対比(掘削幅、掘削深さ)	
			土質変化時点	変化位置	
		土留め工	土留め完了時	使用材料、長さ	
		鉄筋組立工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
		止水・目地設置工	止水板等設置完了時	使用材料、設計図書との対比	
躯体工		生コン打設時	使用材料、設計図書との対比		
		埋め戻し前	設計図書との比較		
埋め戻し工		埋め戻し施工時	巻きだし厚さの確認(t=20cm)		
舗装工		As舗装	路盤完了時	施工厚さ、使用材料	
		コンクリート舗装	路盤・溶接金網完了時	使用材料、設計図書との対比	

別表1

種 別	細 別	確 認 時 期	確 認 項 目		
下水道	雨水管渠工 (開削工法)	掘削	丁張り等完了時	法線設置状況	
			掘削完了時	設計図書との対比(掘削幅、掘削深さ)	
			土質変化時点	変化位置	
		土留め工	土留め完了時	使用材料、長さ	
		管渠・函渠据付工	基礎完了時	通り・形状・設計図書との比較	
			埋め戻し前	使用材料、形状、接続、通り、設計図書との対比	
		埋め戻し工	埋め戻し施工時	巻きだし厚さの確認(t=20cm)	
		舗装工	As舗装	路盤完了時	施工厚さ、使用材料
			コンクリート舗装	路盤・溶接金網完了時	使用材料、設計図書との対比
		仮設工	鋼矢板式土留め工	建て込み	土留め完了時
	薬液注入工		施工時	使用材料、削孔位置、深度、注入量	
			施工完了時	注入量、注入効果	
	ライナープレート式掘削土留工		設置完了時	使用材料、基準高	
	路面覆工	施工完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等		
	推進工		推進開始時	推進機械設置高、鏡切状況	
			推進完了時	管中心線、管底高、管径	
		空伏せ工	空伏管布設完了時	使用材料、設計図書との対比	
			埋め戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)	
	シールド工		掘削開始前	推進機械設置高、鏡切状況	
			一次覆工完了時	管中心線、管底高、管径	
二次覆工完了時			管中心線、管底高、管径		
空伏せ工		空伏管布設完了時	使用材料、設計図書との対比		
		埋め戻し前	設計図書との対比 (不可視部分の出来形)		
マンホール工		掘削完了時	使用材料、土留構造、位置、掘削深さ、基準高、設計図書との対比		
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比		
		埋め戻し前	基準高、幅、高さ、長さ、厚さ、設計図書との対比(不可視部分の出来形)		
管更生工	材料	材料搬入時	使用材料、長さ、設計図書との対比		
	更生材引込工	材料引込時	施工計画との対比		
	取付管削孔工	削孔時	設計図書との対比		
水道	管布設工 (開削工法)	掘削	丁張り等完了時	法線設置状況	
			掘削完了時	設計図書との対比(掘削幅、掘削深さ)	
			土質変化時点	変化位置	
		土留め工	土留め完了時	使用材料、長さ	
		管布設工	管布設完了時	使用材料、管接合、深さ、設計図書との対比	
			消火栓用分岐部布設時	使用材料、管接合、深さ、設計図書との対比	
			空気弁用分岐部布設時	使用材料、管接合、深さ、設計図書との対比	
			管基礎完了時	幅、厚さ・設計図書との比較	
		弁室工	鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
			埋め戻し前	幅、高さ、長さ、厚さ、設計図書との対比(不可視部分の出来形)	
		異形管防護工	埋め戻し前	幅、高さ、長さ、厚さ、設計図書との対比(不可視部分の出来形)	
		不連続分岐工	せん孔機設置完了時	使用材料、位置、管接合、設計図書との対比	
			せん孔完了時	管接合、機能	

別表1

種 別		細 別		確 認 時 期	確 認 項 目	
水道	管布設工 (開削工法)	給水管切替え工		分水栓建て込み時	設計図書との対比	
		舗装工	As舗装	路盤完了時	施工厚さ、使用材料	
			コンクリート舗装	路盤・溶接金網完了時	使用材料、設計図書との対比	
	工場製作工	製品製作工	鑄鉄管類	製作時又は製作完了時	寸法、外観	
			鋼管類		寸法(長さ、厚さ真円度)、塗装(厚さ、ピンホール)、外観	
			伸縮・可撓管類		機能、寸法、塗装(厚さ、状況)、外観	
			弁類		機能、操作、表示、寸法、塗装(厚さ、状況)、外観	
	水管橋	管布設工			管布設完了時	使用材料、管接合、基準高、設計図書との対比
					塗装(各層)完了時	使用材料、使用量、設計図書との対比
					塗装完了時(現場塗り)	塗膜厚さ、設計図書との対比
管基礎工				鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	
				埋め戻し前	幅、高さ、長さ、厚さ、設計図書との対比(不可視部分の出来形)	

- 注) 1. 工事に応じて必要な工種を適用するものとする。
2. 完成後出来形確認できるものについては、段階確認項目としない。
3. 仮設材を残置する場合は、段階確認項目とする。
4. 契約変更に係る重要な要素となるものについては、監督員が臨場確認する。

指定材料の品質確認一覧表（土木工事）

区分	確認材料名	摘要
鋼材	構造用圧延鋼材	
	プレストレストコンクリート用鋼材 (ポストテンション)	
	鋼製ぐい及び鋼矢板	仮設材は除く
セメント及び混和材	セメント	JIS製品以外
	混和材料	JIS製品以外
セメントコンクリート製品	セメントコンクリート製品一般	JIS製品以外
	コンクリート杭、コンクリート矢板	JIS製品以外
塗料	塗料一般	
その他	レディーミクストコンクリート	JIS製品以外
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く
	場所打ぐい用レディーミクストコンクリート	JIS製品以外
	薬液注入材	
	種子・肥料	
	薬剤	
	現場発生品	

施工状況の把握一覧表（土木工事）

種 別	細 別	施 工 時 期	把 握 項 目	把 握 の 程 度
土工		床均し、埋戻し時	支持地盤、土質、締固め状態、天候、品質規格	1回以上/1工事
舗装工	路盤	路床整正、路盤施工時	支持地盤、土質、締固め状態、天候、品質規格	1回以上/1工事
	舗装工	各層施工時	敷き均し、締固め、舗設温度、天候、気温、品質規格	1回以上/1工事
一般構造物	RC躯体工 擁壁工 函渠工 管渠工 水路工	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	施工延長80mにつき1回以上(ただし、施工延長80m以下は、1回以上/1工事)
側溝工	U型側溝 L型側溝 自由勾配側溝 管渠(函渠)型側溝	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	施工延長80mにつき1回以上(ただし、施工延長80m以下は、1回以上/1工事)
石・ブロック積(張)工	コンクリートブロック 緑化ブロック 石積(張)	コンクリート打設時	品質規格、運搬方法、据付け方法、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1工事
オープンケーソン基礎工 ニューマチックケーソン基礎工 深礎工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
場所打杭工	リバース杭 オールケーシング杭 アースドリル杭 大口径杭	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
重要構造物 (函渠工(樋門・樋管を含む。) 躯体工(橋台) RC躯体工(橋脚) 橋脚フーチング工 RC擁壁 砂防ダム 堰本体工 排水機場本体工 水門工 共同溝本体工)		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
床版工		コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
ポストテンションT(I)桁製作工 プレキャストブロック桁組立工 プレビーム桁製作工 PCホロースラブ製作工 PC版桁製作工 PC箱桁製作工 PC片持箱桁製作工 PC押出し箱桁製作工 床版・横組工		コンクリート打設時 (工場製作を除く)	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
塗装工		清掃・錆落とし施工時	清掃・錆落とし状況	1回以上/1工事
		施工時	品質規格、天候、気温	1回以上/1工事

種 別	細 別	施 工 時 期	把 握 項 目	把 握 の 程 度
トンネル工		施工時 (支保工変更毎)	施工状況	1回以上/支保工変化毎
下水道	推進工	施工時	推進状況、中心線	1回以上/1スパン
		裏込め注入時	配合、注入量	
	シールド工	1次覆工(施工時、裏込め注入時)	組立て状況、中心線、配合、注入量	1回以上/100m
		2次覆工(コンクリート打設時、管布設時)	中心線	1回以上/100m
マンホール工	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物	
水道	水槽	コンクリート打設時	品質規格、運搬時間、打設順序、天候、気温	1回以上/1構造物
植生工		施工時(施肥、薬剤散布)	品質規格、天候、気温	1回以上/1工事
電気・機械設備工	電気通信設備工	現場施工時及び配線完了時	据付状況、外観、機能試験	1回以上/1工事
	機械設備工	現場施工時及び据付完了時	据付状況、外観、機能試験	
その他	上記以外は、必要に応じ別途定める。			

注) 表中の「把握の程度」は、把握頻度の目安であり、実施にあたっては現場状況等を勘案のうえ、これを最小限として設定することとする。

段階確認一覧表（建築工事）

監督員の検査	施工の各段階で請負者等が確認した施工状況や材料の試験結果などについて、請負者から提出された資料に基づき監督員が設計図書との適否を判断する(標仕1. 1. 2(6))	実施時期
設計図書に定められている場合の検査		監督員の指示による
共通仕様書の「一工程の施工の確認及び報告」により報告をうけた事項の検査		一工程完了後
監督員の指示による工程に達した場合の検査		監督員の指示による
合格した工程と同等施工の部分の検査		抽出検査

施工に伴う試験	標準仕様書1. 4. 5に準じておこなう(標仕1. 5. 6)	実施時期
設計図書に定められている場合		試験終了時
試験によらなければ設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合		

監督員の立会	工事の施工上必要な指示、承諾、協議、検査及び調整を行うため監督員がその場に臨むことをいう(標仕1. 1. 2(7))	実施時期
設計図書に定められている場合		監督員の指示による
監督員が指示する場合		

上記の他に工種別による確認事項等を下記に示す。

種別	標準仕様書による検査・立会い事項等	確認時期	確認項目	確認の程度
仮設工事	検査 縄張り	設置後	位置	1回/1工事
	検査 ベンチマーク	設置後	設置状況	1回/1工事
	検査 やりかた	設置後	位置、水平基準	1回/1工事
	確認 仮設足場	設置後	関係法令への適合等	1回/1工事
土工事	検査 根切り	床付け完了時	土質及び深さ	1回/1工事
杭工事	立会 既成杭一試験杭 杭芯	着手時	材料、工法、支持層	1回/1工事
	検査 場所打ち杭一試験杭・本杭	掘削完了時	深さ、支持層	1回/1工事
鉄筋工事	検査 配筋検査	打設前	数量、かぶり、間隔、位置、圧接	打設部位毎
	立会 圧接試験	圧接完了後	外観、抜取試験	打設部位毎
コンクリート工事	立会 試験練	打設前	品質管理、JIS等	1回/1工事
	検査 型枠の加工及び組立	打設前	組立状況	打設部位毎
	検査 打込み後の補修	補修直後	補修状況	補修後毎
鉄骨工事	検査 高力ボルト	締め付け後	締め付け記録	締め付け後
	検査 建て方	建て方完了時	形状、寸法	建て方完了時
	確認 耐火吹きつけ材の厚さ	施工後	確認ピン	指針7・9・8試験による
防水工事	検査 下地、防水層	施工中・後	工法・仕上り、下地含水率	施工部位毎
	検査 水張り試験	完了後	漏水状況	1回/1工事
タイル工事	検査 タイル接着力の不合格処置	施工完了時	引っ張り接着強度	1個/100㎡かつ3箇所以上
木工事	確認 含水率・加工組立状況	施工前・施工中	含水率・仕口継手状況	1回/1工事
金属工事	※ 後施工アンカー引抜き耐力試験	施工前	引抜き力	1ロット当たり3箇所以上
	確認 軽量鉄骨天井・壁下地	施工中・後	開口補強、降止め補強	1回/1階
左官工事	確認 下地処理・下塗り・上塗り	施工中・後	工程・仕上り	施工部位毎
建具工事	確認 取付状況	施工中・後	工程・仕上り	施工部位毎
塗装工事	確認 下地、塗装量又は塗膜厚さ	施工中・後	見本比較、下地状況、仕上り状態	施工部位毎
内装工事	確認 各種下地	施工中・後	下地状況	施工部位毎
ユニット工事	※ 移動間仕切りレール部材補強等	施工前	耐荷重	施工部位毎
排水工事	※ 通水の試験	施工後	漏水及び通水試験	施工部位毎
舗装工事	※ 路盤の厚さ、締固め試験	締固め後	厚さ、締固め度	3箇所/1,000㎡
	※ アスファルト舗装等の切取試験	施工後	舗装厚さ	3箇所/2,000㎡
	※ コンクリート舗装の厚さ試験	施工後	舗装厚さ	1箇所/500㎡
	確認 平坦性の確認	施工後	散水確認	施工部位毎
植栽工事	確認 植栽地の土壌の確認	施工前	透水性、土壌硬度	施工部位毎

※ 試験は原則監督員の立会とするが、承諾を受けた場合はこの限りでない(標仕1. 4. 5)

指定材料の品質確認一覧表（建築工事）

区分	確認事項	摘要
材料一般	環境に対する配慮	環境負荷の低い材料の選定(グリーン購入法) 揮発性有機化合物放出量の低い材料
	設計図書に定める品質や性能を証明する資料の提出	JIS・JASの規格品の場合省略できる。 予め監督員の承諾のある場合は省略できる。
	搬入報告	搬入材料毎に受ける。 監督員の承諾があればこの限りではない。
	検査	材料種別毎に受ける。 但し、JIS・JAS規格品、監督員の承諾がある場合はこの限りではない。
	試験(試験により品質や性能を証明する場合)	試験方法は設計図書に定める方法で原則監督職員の立会を受ける。 但し、監督員の承諾があればこの限りでない。
区分	確認材料名	摘要
既成RC杭	PHC杭、RC杭	JIS製品を確認
コンクリート	I類のレディミクストコンクリート	JIS認定工場による製造を確認
鋼材	鉄筋	JIS製品を確認する。タグプレート、カタログ
	鉄骨鋼材	JIS製品を確認する。規格品証明書(ミルシート) 監督員の承諾で「鉄骨工事使用鋼材証明書」でも可
	トルシア型高力ボルト	建基法による指定又は認定品の確認
	JIS型高力ボルト	JIS製品を確認
	溶融亜鉛メッキ高力ボルト	建基法による指定又は認定品の確認
	デッキプレート	建基法による指定又は認定品の確認
	耐火吹付ロックウール	建基法による不燃材料の指定又は認定品の確認
	成型耐火被覆材	建基法による指定又は認定品の確認
補強CB	コンクリートブロック	JIS製品を確認
防水工事	防水用断熱材	※JIS製品を確認(3種bのスキン層付)(※特記なき場合)
	シーリング	有効期限の確認
タイル工事	タイル用接着剤	施工場所によるタイプI、IIの区別の確認
	内壁下塗り用の軽量発泡骨材	建基法による不燃材料の指定又は認定品の確認
木工事	木材含水率	木材の含水率を確認
屋根・樋工事	長尺金属板	※JIS製品を確認 厚さ0.4mm確認(※特記なき場合)
左官工事	内装仕上げ塗り材	ホルムアルデヒド放散量F4☆の確認
	防火材料の指定のあるもの	建基法による認定品の確認
建具	所要性能	耐風圧性、気密性、水密性、耐震性等を資料により確認
	鋼製建具類素材	素材についてJIS適合品を確認
	鋼製建具類	表面鋼板の亜鉛メッキ処理量の確認
	防火戸・防火戸シーリング	建基法の規定によるもの又は認定品の確認
	木製建具	建具材の含水率、合板や接着剤のF4☆の確認
カーテンウォール	メタルCW所要性能	耐風圧性、耐震性、気密性、水密性、耐火性、遮音性、断熱性の確認
	PCカーテンウォール	コンクリートの種別、強度、諸性能等の確認
塗料	屋内塗装材	ホルムアルデヒド放散量F4☆の確認
	防火材料の指定のあるもの	建基法による指定又は認定品の確認
内装各種	仕上げ材一般	ホルムアルデヒド放散量F4☆の確認
	天井・壁ボード類・合板	建基法の規定による防火材料の指定又は認定品の確認
	壁紙	建基法の規定による防火材料の指定又は認定品の確認
	接着剤一般	ホルムアルデヒド放散量F4☆の確認及び施工部位と種別の確認
ユニット製品	フリーアクセスフロアー構成材	建基法による不燃材又はJISによる確認
	非常進入口マーク	消防法に適合する市販品の確認
	ロールスクリーン及びカーテン	消防法で定める防災性能の表示の確認
舗装	アスファルト混合物	配合設計に基づく試し練りの基準値の確認

段階確認一覧表（設備工事）

監督員の検査	施工の各段階で請負者等が確認した施工状況や材料の試験結果などについて、請負者から提出された資料に基づき監督員が設計図書との適否を判断する(標仕1. 1. 2(6))	実施時期
設計図書に定められている場合の検査		監督員の指示による
共通仕様書の「一工程の施工の確認及び報告」により報告をうけた事項の検査		一工程完了後
監督員の指示による工程に達した場合の検査		監督員の指示による
合格した工程と同等施工の部分の検査		抽出検査

施工に伴う試験	標準仕様書(電気)1. 4. 5に準じておこなう(標仕1. 5. 4) 又は標準仕様書(機械)1. 4. 6に準じておこなう(標仕1. 5. 5)	実施時期
設計図書に定められている場合		試験終了時
試験によらなければ設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合		

監督員の立会	工事の施工上必要な指示、承諾、協議、検査及び調整を行うため監督員がその場に臨むことをいう(標仕1. 1. 2(7))	実施時期
設計図書に定められている場合		監督員の指示による
主要機器を設置する場合		
施工後に検査が困難な箇所を施工する場合		
総合調整を行う場合		
監督員が指示する場合		

上記の他に工種別による確認事項等を下記及び別表8に示す。

電気設備	標準仕様書による検査・立会事項		確認時期	確認項目	確認の程度
電力設備	立会	電灯・動力・電熱・雷保護・構内配電線路設備	施工過程	標準仕様書の第2編表2. 18. 1による	監督員の指示による
受変電設備	立会	受変電設備	施工過程	標準仕様書の第3編表2. 3. 1による	監督員の指示による
静止形電源設備	立会	直流電源装置・交流無停電電源装置	施工過程	標準仕様書の第4編表3. 3. 1による	監督員の指示による
発電設備	立会	発電設備	施工過程	標準仕様書の第5編表2. 6. 1による	監督員の指示による
通信・情報設備	立会	構内交換・構内情報通信網・構内通信線路	施工過程	標準仕様書の第6編表2. 28. 1による	監督員の指示による
中央監視制御設備	立会	中央監視制御設備	施工過程	標準仕様書の第7編表2. 3. 1による	監督員の指示による

機械設備	標準仕様書による検査・立会事項		確認時期	確認項目	確認の程度
空気調和設備	立会	配管、ダクト、機器の据付、保温及び塗装	施工過程	標準仕様書の項目ごと	監督員の指示による
自動制御設備	立会	配管、機器類及び盤類の取付け	施工過程	標準仕様書の項目ごと	監督員の指示による
給排水衛生設備	立会	配管、機器類の取付け及び据付、保温及び塗装	施工過程	標準仕様書の項目ごと	監督員の指示による
ガス設備外	立会	配管、器具の取付け外	施工過程	標準仕様書の項目ごと	監督員の指示による
上記の立会・検査によらない場合は監督員の指示による					

指定材料の品質確認一覧表（設備工事）

電気設備工事

区 分	確 認 事 項	摘 要
機材一般 機材：(機器+材料)	環境に対する配慮	環境負荷の低い材料の選定(グリーン購入法)
		揮発性有機化合物放出量の低い材料
	設計図書に定める品質や性能を証明する資料の提出	JISの規格品以外の場合。 監督員の承諾があれば除く。
	搬入報告	搬入機材毎に受ける。 監督員の承諾があれば除く。
	検査	機材種別毎に受ける。 監督員の承諾があれば除く。
	試験(設計図書による場合、試験により品質や性能を証明する場合)	試験方法は、JIS、JEC、JEM等に定めのある場合はそれによる。
区 分	確 認 機 材 名	摘 要
電力設備・受変電設備・静止形電源設備・発電設備・通信情報設備外	電気設備工事標準仕様書に記載される機材	JISの規格品以外の場合 監督員の承諾のある以外の場合

機械設備工事

区 分	確 認 事 項	摘 要
機材一般 機材：(機器+材料)	環境に対する配慮	環境負荷の低い材料の選定(グリーン購入法)
		揮発性有機化合物放出量の低い材料
	設計図書に定める品質や性能を証明する資料の提出	JIS・JASの規格品、厚労省令認定品以外の場合。 監督員の承諾があれば除く。
	搬入報告	搬入機材毎に受ける。 監督員の承諾があれば除く。
	検査	機材種別毎に受ける。 監督員の承諾があれば除く。
	試験(設計図書[共通仕様書含む]による場合、試験により品質や性能を証明する場合)	試験方法は建基法、JIS、HASS等による定めのある場合はそれによる。 製造所の実験値や性能証明があり監督員が承諾したものは除く。
区 分	確 認 機 材 名	摘 要
機械共通・空気調和設備・自動制御設備・給排水衛生設備・ガス設備・さく井設備外	機械設備工事標準仕様書に記載される機材	JIS、JASの規格品以外の場合 厚生省令第14号に適合する認証機関のマーク以外の場合 監督員の承諾のある以外の場合

施工状況の把握一覧表（設備工事）

電気設備工事

区分	標準仕様書による試験を行い、成績書による監督員の承諾行為	確認時期	確認項目	確認の程度	
電力設備	試験	絶縁抵抗・絶縁耐力	配線完了後	絶縁抵抗・絶縁耐力試験	監督員の指示による 全数
		接地抵抗	接地極埋設後	接地抵抗	
		非常照明装置	取付及び配線完了後	照度測定	
		照明器具		点灯試験	
		コンセント		極性試験	
		分電盤	据付及び配線完了後	外観・構造・シーケンス試験	
		制御盤		外観・構造・シーケンス試験 動作特性	
		発熱線等	敷設過程・埋設完了後	導通試験・絶縁抵抗試験	監督員の指示による
受変電設備	試験	構造試験・性能試験	機器設置及び配線完了後	標準仕様書の第3編 表2.3.2による	監督員の指示による
		耐電圧試験(特別高圧・高圧充電部の相互間及び大地間)		標準仕様書の第3編 表2.3.3による	
		絶縁監視装置試験		標準仕様書の第3編 表2.3.4による	
静止形電源設備	試験	構造試験・性能試験・機能試験	機器設置及び配線完了後	標準仕様書の第4編 表3.3.2による	監督員の指示による
発電設備	試験	ディーゼル発電機等(内燃機関)	機器設置及び配線完了後	標準仕様書の各試験項目等による	監督員の指示による
		燃料電池・太陽光発電・風力発電装置等			
通信・情報設備	試験	UTPケーブル・構内情報通信網設備・構内交換設備・情報表示・映像音響設備・TV共同受信設備等・監視カメラ設備・駐車場管制設備・防犯・入退室管理設備・自動閉鎖設備	機器設置及び配線完了後及び接続完了後	標準仕様書の各試験項目等による	監督員の指示による
中央監視制御設備	試験	絶縁抵抗試験・機能試験	機器設置及び配線完了後	標準仕様書の第7編 表2.3.2による	監督員の指示による

機械設備工事

区分	標準仕様書による試験を行い、成績書による監督員の承諾行為	確認時期	確認項目	確認の程度	
配管工事	試験	冷温水、冷却水、蒸気、油、高温水、及び冷媒配管	施工中・施工後・隠蔽・埋戻し前・塗装又は被覆前	耐圧試験、水圧試験、満水試験・通水試験、水圧・気密・外観・性能試験	監督員の指示による
		給水・給湯配管			
		排水・通気配管			
		消火配管			
ガス設備工事	試験	ガス配管	施工中若しくは隠蔽、埋戻し前又は配管完了後の塗装前	気密耐圧試験、点火試験	監督員の指示による
昇降機器設備工事	試験	各試験	施工後	(社)日本エレベータ協会標準による項目	1回/1工事
機械式駐車場設備工事	試験	各試験	施工後	JIS A 4302に準じる項目	1回/2工事